



子どもの万博遠足が心配 ヒアリ、メタンガス、地下鉄混雑



「危険がいっぱい万博遠足は大丈夫？」をテーマに生野区の学校統廃合による子どもたちの教育環境とまちづくりを考える集いが開かれました。講師の藤永のぶよさんは、軟弱地盤・土壌汚染・地震・豪雨など根本問題が解決していないことを具体的に示しました。

○ヒアリ

「大屋根リング見学ツアー」(8月)参加の中学生に「長袖・長ズボン・靴下着用など肌の露出が少なくなるような服装で」と注意メール。ヒアリの危険性を示しています。

○メタンガス

爆発事故で危険性が明らかになったメタンガス。駐車場はもとも15本のガス抜き管があった場所。メイン会場は「きれいな建設残土を投棄しており大丈夫」と言うが、一般ゴミと油固めの薬の

伍が散乱し(20年9月時点)メタンが発生する。
○猛暑・熱中症対策
マイボトル給水機・ウォーターサーバー設置、診療所3カ所、応急手当所5カ所。
○軟弱地盤
「支持層への杭基礎」ではなく「浮き基礎工法」のためパビリオンは2階建。地震・台風・豪雨に弱い。

○大渋滞・地下鉄混雑

会場へのアクセスは夢洲トンネルと夢前大橋だけ。今でもコンテナヤードの運転手は携帯トイレ所持。
地下鉄中央線は今でも混雑。12・6万人を輸送計画。定員880人、2分半に1本、1時間で24本。来場者だけで乗車率150%で4時間半かかる。通勤者の「時差出勤やテレワークへの協力」を圧力的に増やしても対応できない。



八鹿高校事件50年

解放同盟の暴力・糾弾 教育の自由を破壊

カジノ・I.Rのインフラ整備のための万博で子どもの安全は確保されません。参加者から質問や意見が多数出されました。○メディアでは歓迎ばかり。校長先生にも情報が無い。場所的に汚染土壌。子どもが行くところではない。○保護者にまだ知らされて

いない。今日の内容を知らせたい。○5〜7月に学校を訪問しました。先生方は心配している。開幕してから下見では安全が確認できない。「事故が起こったら学校長の責任」に対して怒りの声があがりました。○第2休憩所の屋根「石のパゴラ」(花こう岩

1個90〜250kgを750個・穴をあけワイヤーでつなぐ)死亡事故が起きないか。○地域から声を上げていきたい。○子どもの安全では、生野未来学園は登校に時間がかかり、交通量も多く「家族と登校」が19%〜13人になっている。

八鹿高校事件50周年記念映画と講演のつどいが11月16日行われ260人が参加しました。「八鹿高校事件は、部落解放同盟の拉致、13時間に及ぶ暴行により、教職員56人が重軽傷うち29人が入院治療を受けた事件。県や

南大学教授濱道生さんで、講演要旨は次の通りです。
八鹿高校事件の性格は、①部落解放同盟による暴力的糾弾の頂点、②日本教育史上最大の集団的な教育対象暴力、③行政・教育委員会・警察・マスコミが一体となった権力犯罪。その攻撃に対して、教職員全体が団結して闘ったこと、生徒自治会が解放同盟系の勢力と闘い、地域

と全国に宣伝活動を繰り広げ(八鹿高校新聞部「八鹿高校新聞」)全国の闘いとなったと述べました。
自由な教育
解放同盟は行政を屈服させ「窓口一本化」(解放同盟に反対すると行政の同和施策を受けることが出来ない)で「同和利権」を欲しています。

高校に部落問題研究会がすでにあるにも関わらず、解放教育研究会を作るという方針に従わない八鹿高校の自由な教育に対する暴力的支配を画策しました。しかし、八鹿高校の校風は一言でいうなら「自由主義」。生徒自治会の自治意識も高く、教師間に序列のないフラットな人間関係があり、教師と生徒もフラットな関係。「暴力反対!先生返せ!」の高校生デモが町民を励まし、マスコミが事件を黙殺する中、「赤旗」報道により全国の支援が強まりました。解放同盟浅田・丸尾派の逮捕となりました。

今年度2年生の学級担任をしています。子どもたちの元氣よさ・優しさに毎日癒されています。仕事を楽しくしています。
教育実習生の指導担当になりました。私自身も改めて「教材研究」の生が授業を行いや

議側の一方的な暴力があったことを認めたとで辞職せよ」等を決議した。
や地域出身の169万392人の外国人住民が居住し、全市民のうちの約6・1%を占め、人口・比率とも政令指定都市の中で最多となっています。24年度大阪府市算では「外国につながる児童生徒の受け入れ・共生のための教育推進事業」3億300万円が計上されています。
子ども基本法、子ども家庭庁、子ども大綱、今後作成される都道府県ごとも計画・市町村ごとも計画が「勧告」が指摘した問題を解決するものとなっているのかの検討も必要です。

大教組 教研 パン工場とお店 チヨウウの観察

大教組教研社会科分科会(11月10日)に参加しました。充実した学びでした。私の報告は拙いものでしたが、参加されていた皆さんがうなずきながら、たくさん笑いながら聞いてくださり安心して報

告できました。中学校の特別支援学級での社会科の取り組み、選挙や労働問題を通して、主権者としてどう考えるか、水俣病に関して、そこに生活する方の聞き取りや現地取材した資料を通

して子どもとどう考えたのか、などの報告がありました。どの報告を聞いても「子どもありき」が貫かれていて、社会科を通して子どもをどう捉えるかという

理科分科会に参加し、小3理科「チヨウウの観察」について報告しました。小学校「ふりこのきまみ」高校「鶏の心臓の解剖」「原子の学習」など、普段聞けない分野の実践を聞いたのが楽しかったです。(み)

子ども基本法、子ども家庭庁、子ども大綱、今後作成される都道府県ごとも計画・市町村ごとも計画が「勧告」が指摘した問題を解決するものとなっているのかの検討も必要です。

子ども基本法、子ども家庭庁、子ども大綱、今後作成される都道府県ごとも計画・市町村ごとも計画が「勧告」が指摘した問題を解決するものとなっているのかの検討も必要です。

子ども基本法、子ども家庭庁、子ども大綱、今後作成される都道府県ごとも計画・市町村ごとも計画が「勧告」が指摘した問題を解決するものとなっているのかの検討も必要です。

子ども基本法、子ども家庭庁、子ども大綱、今後作成される都道府県ごとも計画・市町村ごとも計画が「勧告」が指摘した問題を解決するものとなっているのかの検討も必要です。

子ども基本法、子ども家庭庁、子ども大綱、今後作成される都道府県ごとも計画・市町村ごとも計画が「勧告」が指摘した問題を解決するものとなっているのかの検討も必要です。

たんぽぽ だより

12月

今年度2年生の学級担任をしています。子どもたちの元氣よさ・優しさに毎日癒されています。仕事を楽しくしています。
教育実習生の指導担当になりました。私自身も改めて「教材研究」の生が授業を行いや

すいように、私も夏休みにより教材研究を丁寧に行うようにしました。発問をより細かく考えたり、ワークシートを作成したりしました。
教育実習生も無事に授業を行い教育実習を終えることができました。

市の先生になりた「い」とあり、私も嬉しくなりました。これからも児童の「分かった」がたくさん見られるように教材研究を大切にしたいです。

